

ダイワ／ミレーアセット 亜細亜株式ファンド

運用報告書(全体版) 第 8 期

(決算日 2020年 1 月20日)

(作成対象期間 2019年 7 月23日～2020年 1 月20日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式		
信託期間	5 年間（2016年 1 月21日～2021年 1 月20日）		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資 対 象	当 ファ ン ド	イ. ルクセンブルグ籍の外国 証券投資法人「ミレーア セット・グローバル・ディ スカバリー・ファンド」が 発行する「ミレーアセッ ト・ネクスト・アジア・パ シフィック・エクイティ・ ファンド（円クラス）」の 投資証券（円建） ロ. ダイワ・マネーストッ ク・マザーファンドの受益 証券	
	ダイワ・マネー ス ト ッ ク ・ マザーファンド	円建ての債券	
組入制限	当ファンドの投資信託 証 券 組 入 上 限 比 率	無制限	
	マザーファンドの 株 式 組 入 上 限 比 率	純資産総額の10%以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売 買益（評価益を含みます。）等とし、原則とし て、基準価額の水準等を勘案して分配金額を 決定します。ただし、分配対象額が少額の場合 には、分配を行なわないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申
上げます。

当ファンドは、アジア・オセアニアおよび
日本のアジア・ワン企業の株式に投資し、信
託財産の成長をめざしております。当作成期
につきましてもそれに沿った運用を行ないま
した。ここに、運用状況をご報告申し上げま
す。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、
お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			MSCI AC Asia Pacific 指数 (配当込み、円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 証 券 組入比率	純資産 総 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
4 期末 (2018年 1 月22日)	13,317	550	18.6	15,679	15.6	—	98.6	13,654
5 期末 (2018年 7 月20日)	12,743	0	△ 4.3	14,516	△ 7.4	—	99.0	10,574
6 期末 (2019年 1 月21日)	10,712	0	△ 15.9	13,332	△ 8.2	—	99.0	7,898
7 期末 (2019年 7 月22日)	11,219	200	6.6	14,001	5.0	—	99.0	6,534
8 期末 (2020年 1 月20日)	12,797	350	17.2	15,682	12.0	—	98.0	5,767

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) MSCI AC Asia Pacific 指数（配当込み、円換算）は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCI AC Asia Pacific 指数（配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。MSCI AC Asia Pacific 指数（配当込み、米ドルベース）は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注 5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期 首：11,219円

期 末：12,797円（分配金350円）

騰落率：17.2%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

アジア・オセアニア株式市況や日本株式市況が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ／ミレーアセット亜細亜株式ファンド

年 月 日	基 準 価 額		M S C I A C Asia Pacific 指数 (配当込み、円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 証 券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2019年 7 月22日	円	%		%	%	%
	11, 219	—	14, 001	—	—	99. 0
7 月末	11, 392	1. 5	13, 967	△ 0. 2	—	98. 7
8 月末	10, 836	△ 3. 4	12, 994	△ 7. 2	—	99. 3
9 月末	11, 616	3. 5	13, 764	△ 1. 7	—	98. 4
10月末	12, 152	8. 3	14, 371	2. 6	—	99. 0
11月末	12, 316	9. 8	14, 742	5. 3	—	98. 8
12月末	12, 596	12. 3	15, 285	9. 2	—	97. 8
(期末) 2020年 1 月20日	13, 147	17. 2	15, 682	12. 0	—	98. 0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 7. 23 ～ 2020. 1. 20)

■アジア・オセアニア株式市況

アジア・オセアニア株式市況は上昇しました。

アジア・オセアニア株式市況は、当作成期首より、香港の大規模デモや米中貿易摩擦懸念などを受けて、下落して始まりました。しかし2019年9月以降は、米国による対中関税率引き上げの先送りや米中協議の進展期待に加えて、香港情勢の懸念後退などを好感して、反発に転じました。12月には、米中貿易交渉の第1段階合意に加えて世界的な半導体関連株式の上昇などの好材料が相次ぎ、一段高となりました。当作成期末にかけても堅調な推移が続きました。

■日本株式市況

国内株式市況は上昇しました。

国内株式市況は、当作成期首より、欧米の中央銀行による利下げ期待がある一方、米中通商協議に対する不透明感から横ばい圏で推移しました。2019年8月には、米国が再び対中追加関税の対象を拡大する方針を表明したことが嫌気され株価は下落したものの、9月以降は、米国が連続利下げを実施したことで過度な景気後退懸念が後退したことや、米中間で通商問題の部分合意がなされたことが好感され、株価は上昇しました。

■為替相場

アジア・オセアニア通貨の対円相場は、米中貿易摩擦の動向に左右される展開の中、まちまちの動きとなりました。

香港ドルは米ドルペッグ制（米ドルに連動させる為替政策）を採用しているため、米ドルに連動した値動きとなり、小幅に上昇しました。中国・人民元も対円で小幅に上昇しました。一方、インド・ルピーは対円で下落しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、A Pエクイティ・ファンドおよびダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、A Pエクイティ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

※A Pエクイティ・ファンド：ミレーアセット・ネクスト・アジア・パシフィック・エクイティ・ファンド（円クラス）

■A Pエクイティ・ファンド

引き続き、ミレーアセット社と大和投資信託で連携して運用を行ってまいります。アジア・オセアニア株式と日本株式の比率は、ミレーアセット社と大和投資信託で構成されるファンド委員会で決定いたします。

・アジア・オセアニア株式

トップレベルのマーケットシェア、優れた市場開拓力、独自の技術・開発力、高い経営の質を有しているアジア・ワン企業に投資してまいります。ミレーアセット社による独自のスコアリングやボトムアップ・アプローチにより、アジアの成長の恩恵を享受することで、持続的な利益成長の実現が期待される銘柄に注目してまいります。個別銘柄では、相対的に高い利益成長が見込まれるインドのリテール向け銀行、消費拡大から恩恵を受ける中国の電子商取引関連銘柄や教育関連銘柄などに投資妙味があると考えます。

・日本株式

米国や欧州の中央銀行高官が金融緩和の可能性を示唆するなど投資家心理の改善が期待される一方、悪化傾向にある各国経済指標の動向や国内の企業業績の見通し悪化懸念など株価の下値リスクも警戒され、国内株式市場は国内外の政治・経済のイベント次第では上にも下にも振れやすい局面が続くと想定されます。

個別銘柄の選定にあたりましては、ファンドコンセプトに基づき、マーケットシェア、高い技術力・開発力、優れた市場の開拓力、高い経営能力など、中長期的な視点に軸足を置いた銘柄選別を行ってまいります。とりわけアジアの中間所得者層の消費拡大が続くとの見方に変わりはなく、その恩恵を受ける消費関連企業に引き続き注目してまいります。5 G（第5世代移動通信システム）設備やロボット・省人化への投資、キャッシュレスサービスなど中長期的なテーマ性を有する銘柄の発掘に努めてまいります。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行います。

ポートフォリオについて

(2019. 7. 23 ～ 2020. 1. 20)

■当ファンド

当ファンドはA P エクイティ・ファンドおよびダイワ・マネースtock・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。A P エクイティ・ファンドへの投資割合を高位に維持することをめざしました。

■A P エクイティ・ファンド

アジア・オセアニア株式と日本株式の比率は、定量・定性分析に基づいてミレーアセット社と大和投資信託で構成されるファンド委員会で決定しました。

・アジア・オセアニア株式

トップレベルのマーケットシェア、優れた市場開拓力、独自の技術・開発力、高い経営の質を有しているアジア・ワン企業に投資しました。国別構成では、中長期的な消費拡大が期待された中国やインドを参考指数と比較してオーバーウエートとしました。個別銘柄では、HDFC BANK（インド、金融）、LI NING COMPANY（中国、一般消費財・サービス）などを高位に組み入れました。

・日本株式

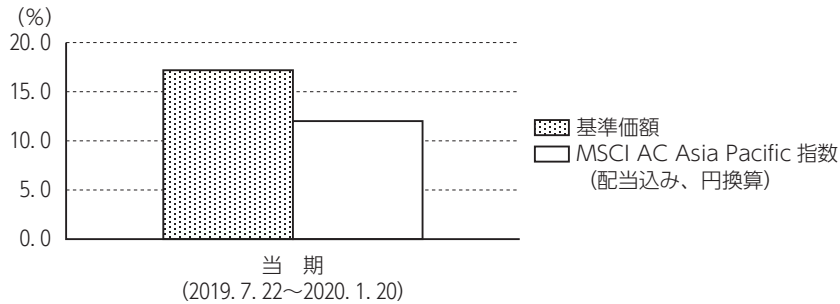
業種構成は、新興国の中長期的な消費拡大に注目し、その恩恵を受ける生活必需品セクターや、付加価値の高い製品の供給によってアジアの製造業の成長を支える素材セクターなどを参考指数と比較してオーバーウエートとしました。一方で、国内事業を中心に展開するコミュニケーション・サービスなどをアンダーウエートとしました。個別銘柄では、業績見通しや株価指標、アジア展開の潜在力などを総合的に勘案し、ソニー、ダイキン工業、ピジョンなどを高位に組み入れました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。
参考指数はアジア・オセアニアおよび日本の株式市況の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。
収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2019年7月23日 ～2020年1月20日	
当期分配金（税込み）（円）		350
対基準価額比率（%）		2.66
当期の収益（円）		117
当期の収益以外（円）		232
翌期繰越分配対象額（円）		2,797

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0.00円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓ 117.61
(c) 収益調整金	552.38
(d) 分配準備積立金	✓ 2,477.03
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	3,147.02
(f) 分配金	350.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	2,797.02

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、ＡＰエクイティ・ファンドおよびダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、ＡＰエクイティ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ＡＰエクイティ・ファンド

引き続き、ミレーアセット社と大和投資信託で連携して運用を行ってまいります。アジア・オセアニア株式と日本株式の比率は、ミレーアセット社と大和投資信託で構成されるファンド委員会で決定いたします。

・アジア・オセアニア株式

トップレベルのマーケットシェア、優れた市場開拓力、独自の技術・開発力、高い経営の質を有しているアジア・ワン企業に投資してまいります。ミレーアセット社による独自のスコアリングやボトムアップ・アプローチにより、アジアの成長の恩恵を享受することで、持続的な利益成長の実現が期待される銘柄に注目してまいります。個別銘柄では、相対的に高い利益成長が見込まれるインドのリテール向け銀行、消費拡大から恩恵を受ける中国の消費関連銘柄などに投資妙味があると考えます。

・日本株式

グローバルの景気指標に依然回復は見られないものの、米中合意などにより景気底打ち・回復への期待は醸成されつつあります。国内株式市場のさらなる上昇には経済指標などファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）の回復が待たれますが、新年度の国内企業業績は増益に転じると予想されるなど、次期ベースでの株価指標面に割高感はなく、中期的には下値を徐々に切り上げていく展開を想定します。

個別銘柄の選定にあたりましては、ファンドコンセプトに基づき、マーケットシェア、高い技術力・開発力、優れた市場の開拓力、高い経営能力など、中長期的な視点に軸足を置いた銘柄選別を行います。すでに需要回復が見られる半導体関連に続き、５Ｇ（第５世代移動通信システム）設備・サービスやロボット・省人化への投資など中長期的なテーマ性を有する設備投資関連、素材関連銘柄の組入比率を高めていきます。アジアの中間所得者層の消費拡大が続くとの見方に変わりはなく、その恩恵を受ける消費関連株に引き続き注目してまいります。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 7. 23～2020. 1. 20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	72円	0.614%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11,748円です。
(投 信 会 社)	(22)	(0.190)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(48)	(0.407)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	73	0.618	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

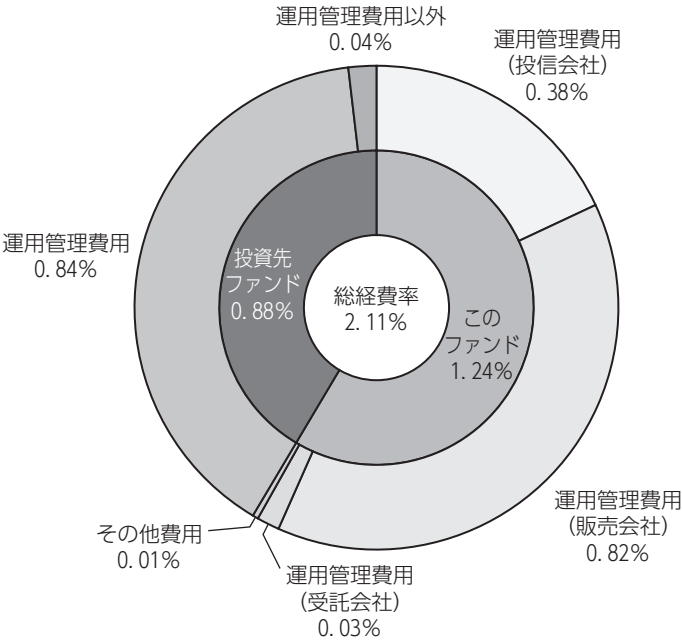
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.11%です。



総経費率（①＋②＋③）	2.11%
①このファンドの費用の比率	1.24%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.84%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.04%

(注 1) ①の費用は、1 万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注 2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注 3) 各比率は、年率換算した値です。
(注 4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
(注 5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
(注 6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
(注 7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託証券

(2019年7月23日から2020年1月20日まで)

	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	—	—	13,075.7075226	1,800,000

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託証券

(2019年7月23日から2020年1月20日まで)

当 期				期 末			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				MIRAE ASSET GLOBAL DISCOVERY FUND-MIRAE ASSET NEXT ASIA PACIFIC EQUITY FUND (ルクセンブルグ)	13,075.7075226	1,800,000	137

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託証券 (ルクセンブルグ) MIRAE ASSET GLOBAL DISCOVERY FUND-MIRAE ASSET NEXT ASIA PACIFIC EQUITY FUND	36,984.7711593	5,651,642	98.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	9,958	9,958	9,972

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年1月20日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託証券	5,651,642	94.4
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	9,972	0.2
コール・ローン等、その他	322,346	5.4
投資信託財産総額	5,983,961	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年 1月20日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	6,083,961,853円
コール・ローン等	222,346,856
投資信託証券（評価額）	5,651,642,881
ダイワ・マネースtock・マザーファンド（評価額）	9,972,117
未収入金	199,999,999
(B) 負債	316,594,550
未払金	100,000,000
未払収益分配金	157,738,746
未払解約金	21,466,626
未払信託報酬	37,140,988
その他未払費用	248,190
(C) 純資産総額（A－B）	5,767,367,303
元本	4,506,821,339
次期繰越損益金	1,260,545,964
(D) 受益権総口数	4,506,821,339口
1万口当り基準価額（C／D）	12,797円

* 期首における元本額は5,824,345,399円、当作成期間中における追加設定元本額は27,223,152円、同解約元本額は1,344,747,212円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は12,797円です。

■損益の状況

当期 自 2019年 7月23日 至 2020年 1月20日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 22,646円
受取利息	3,567
支払利息	△ 26,213
(B) 有価証券売買損益	906,445,193
売買益	998,865,330
売買損	△ 92,420,137
(C) 信託報酬等	△ 37,389,641
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	869,032,906
(E) 前期繰越損益金	300,303,886
(F) 追加信託差損益金	248,947,918
(配当等相当額)	(235,681,730)
(売買損益相当額)	(13,266,188)
(G) 合計（D＋E＋F）	1,418,284,710
(H) 収益分配金	△ 157,738,746
次期繰越損益金（G＋H）	1,260,545,964
追加信託差損益金	248,947,918
(配当等相当額)	(235,681,730)
(売買損益相当額)	(13,266,188)
分配準備積立金	1,011,623,154
繰越損益金	△ 25,108

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	53,008,274
(c) 収益調整金	248,947,918
(d) 分配準備積立金	1,116,353,626
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	1,418,309,818
(f) 分配金	157,738,746
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	1,260,571,072
(h) 受益権総口数	4,506,821,339口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	350円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
 - ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

ミレーアセット・ネクスト・アジア・パシフィック・エクイティ・ファンド（円クラス）

当ファンド（ダイワ／ミレーアセット亜細亜株式ファンド）は、ルクセンブルグ籍の外国証券投資法人「ミレーアセット・グローバル・ディスカバリー・ファンド」が発行する「ミレーアセット・ネクスト・アジア・パシフィック・エクイティ・ファンド（円クラス）」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2020年1月20日時点で入手しうる直近の決算分を掲載しております。

純資産計算書（2019年3月31日現在）

	(USD)
営業投資有価証券取得原価	50,213,336
評価益	17,363,392
営業投資有価証券時価評価額	67,576,728
現金	1,229,386
未収利息および未収配当金	203,944
資産合計	69,010,058
未払費用	79,512
負債合計	79,512
純資産	68,930,546
JクラスJPYシェア 1口当りの純資産	132.09
JクラスJPYシェアの発行済み口数	57,793,364.792

損益計算書および純資産変動計算書（2019年3月31日に終了した会計期間）

	(USD)
期首純資産	111, 197, 722
配当金（源泉徴収税控除後額）	960, 903
受取利息	12, 043
収益合計	972, 946
運用会社手数料	39, 295
投資管理手数料	548, 499
保管料および預託手数料	58, 535
監査および法的手数料	30, 142
管理および会計費用	38, 379
登録および移転手数料	13, 045
年次税	7, 926
税金計算および報告手数料	306
取引費用	95, 607
その他の費用	20, 526
費用合計	852, 260
投資による純利益 / (損失)	120, 686
純実現益（損）	
営業投資有価証券売上に係る	4, 813, 543
外国為替先渡契約に係る	(33, 884)
外国為替に係る	(64, 251)
評価損益の純増 / (減)	
営業投資有価証券に係る	(12, 792, 154)
運用に係る純資産の期中純増 / (減)	(7, 956, 060)
設定による収入	1, 353, 230
解約に対する支出	(35, 664, 346)
設定解約による純収入 / (支出)	(34, 311, 116)
期末純資産	68, 930, 546

2019年3月31日現在の投資スケジュール（米ドル建て）

数量	内容	評価額	純資産に 占める 割合 %
取引所上場が認められた有価証券とマネーマーケット商品			
	株式		
67,800	Aia Group Limited	674,980	0.98
23,091	Alibaba Group Holding Limited	4,103,963	5.95
37,395	Apollo Hospitals Enterprise Limited	662,654	0.96
86,576	Asian Paints Limited	1,865,464	2.70
279,400	Bangkok Dusit Medical Services pcl - NVDR	218,344	0.32
387,300	Bank Central Asia Tbk Pt	754,695	1.09
45,152	Britannia Industries Limited	2,011,034	2.92
81,300	China International Travel Service Corp. Limited	847,532	1.23
279,500	China Merchants Bank Company Limited - H	1,358,339	1.97
3,650	CSL Limited	504,653	0.73
18,316	Ctrip.com International Limited - ADR	796,197	1.16
13,400	Daifuku Company Limited	696,952	1.01
11,700	Daikin Industries Limited	1,370,256	1.99
17,500	Daiwa House Industry Company Limited	556,075	0.81
5,900	Disco Corp.	840,155	1.22
71,124	Foshan Haitian Flavouring & Food Company Limited	917,290	1.33
32,000	Galaxy Entertainment Group Limited	217,886	0.32
128,184	Godrej Consumer Products Limited	1,269,331	1.84
112,521	Hangzhou Hikvision Digital Technology Company Limited	587,004	0.85
158,400	Han's Laser Technology	994,350	1.44
77,358	HDFC Bank Limited	2,589,429	3.76
51,842	Hindustan Lever Limited	1,277,265	1.85
10,500	Hitachi Transport System Limited	311,459	0.45
15,000	House Foods Corp.	602,736	0.87
23,000	Hua Hong Semiconductor Limited	53,911	0.08
54,900	Isuzu Motors Limited	720,796	1.05
211,014	Jiangsu Hengrui Medicine Company	2,053,494	2.97
1,921,300	Kalbe Farma Tbk Pt	205,069	0.30
28,300	Kaneka Corp.	1,059,221	1.54
23,600	Konami Corp.	1,023,955	1.49
35,100	Mandom Corp.	902,023	1.31
195,400	Mitsubishi Ufj Financial Group Inc.	970,427	1.41
52,900	Mitsui Chemicals Inc.	1,275,867	1.85
26,400	Murata Manufacturing Company Limited	1,313,980	1.91
22,874	New Oriental Education & Technology Group - ADR	1,973,340	2.86
10,100	Nidec Corp.	1,279,087	1.86
18,400	Otsuka Holdings Company Limited	722,575	1.05

ダイワ／ミレアセット亜細亜株式ファンド

数量	内容	評価額	純資産に 占める 割合 %
29,700	Pacific Industrial Company Limited	417,294	0.61
22,300	Pan Pacific International Holdings Corp	1,475,994	2.14
33,700	Pigeon Corp.	1,376,969	2.00
209,500	Ping An Insurance Group Company of China Limited	2,345,874	3.40
3,500	Ryohin Keikaku Company Limited	886,180	1.29
24,100	Sakata Seed Corp.	819,328	1.19
16,999	Samsung Electronics Company Limited	668,669	0.97
44,000	Sands China Limited	221,122	0.32
145,008	Shanghai International Airport - A	1,340,616	1.95
5,600	Shimadzu Corp.	161,813	0.23
10,100	Shin-Etsu Chemical Company Limited	846,340	1.23
28,700	Sony Corp.	1,203,770	1.75
4,400	Square Enix Holdings Company Limited	154,156	0.22
20,300	Star Micronics Company Limited	308,867	0.45
19,000	Sumitomo Corp.	262,666	0.38
10,000	Sumitomo Mitsui Trust Holdings Inc.	359,023	0.52
52,643	Sydney Airport Finance Company Pty Limited	277,414	0.40
229,000	Taiwan Semiconductor Manufacturing Company Limited	1,824,097	2.64
68,299	Tal Education Group - ADR	2,439,640	3.54
2,250,100	Telekomunikasi Indonesia Tbk Pt	624,108	0.91
93,500	Tencent Holdings Limited	4,299,825	6.23
21,600	Tokyo Rope Mfg Company Limited	190,362	0.28
20,000	Trend Micro Inc.	973,407	1.41
31,100	Unicharm Corp.	1,028,663	1.49
185,796	Vietnam Dairy Products JSC	1,076,948	1.56
691,227	Vietnam Prosperity JSC	600,400	0.87
12,700	Yakult Honsha Company Limited	887,606	1.29
18,500	Yamaha Corp.	923,789	1.34
	株式合計	67,576,728	98.04
	取引所上場が認められた有価証券とマネーマーケット商品の合計	67,576,728	98.04
	営業投資有価証券時価評価額	67,576,728	98.04
	現金	1,229,386	1.78
	その他純資産	124,432	0.18
	純資産総額	68,930,546	100.00

＜補足情報＞

当ファンド（ダイワ／ミレーアセット垂細垂株式ファンド）が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2019年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2020年1月20日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄

2019年7月23日～2020年1月20日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2020年1月20日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第10期（決算日 2019年12月9日）

（作成対象期間 2018年12月11日～2019年12月9日）

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

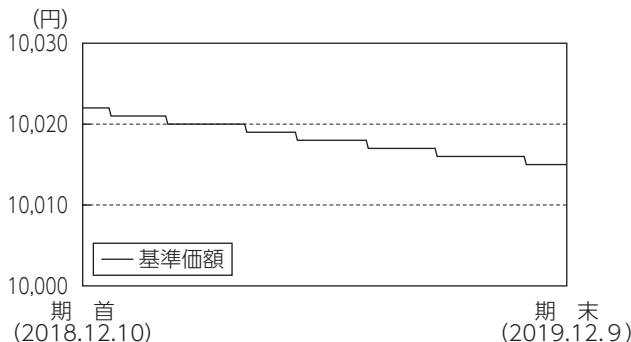
運 用 方 針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	円建ての債券
株 式 組 入 制 限	純資産総額の10%以下

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2018年12月10日	円	%	%
12月末	10,022	0.0	—
2019年1月末	10,021	△0.0	—
2月末	10,020	△0.0	—
3月末	10,020	△0.0	—
4月末	10,019	△0.0	—
5月末	10,018	△0.0	—
6月末	10,018	△0.0	—
7月末	10,017	△0.0	—
8月末	10,017	△0.0	—
9月末	10,016	△0.1	—
10月末	10,016	△0.1	—
11月末	10,015	△0.1	—
(期末)2019年12月9日	10,015	△0.1	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,022円 期末：10,015円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債やコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	1 (1)
合 計	1

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

国 内	買 付 額	売 付 額
	千円	千円
国債証券	250,003	— (250,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘	柄	銘	柄
金 額	金 額	金 額	金 額
801 国庫短期証券 2019/3/18	250,003 千円		千円

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	103,888,808	100.0
投資信託財産総額	103,888,808	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	103,888,808,252円
コール・ローン等	103,888,808,252
(B) 負債	200,442,764
未払解約金	200,000,000
その他未払費用	442,764
(C) 純資産総額(A－B)	103,688,365,488
元本	103,532,314,258
次期繰越損益金	156,051,230
(D) 受益権総口数	103,532,314,258口
1口当り基準価額(C／D)	10,015円

* 期首における元本額は40,969,233,796円、当作成期間中における追加設定元本額は198,584,973,661円、同解約元本額は136,021,893,199円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ロボット・テクノロジー関連株ファンド－ロボテック－947,268円、ダイワ／ミレーアセット・インド株式ファンド－インドの匠－29,910,270円、ワールド・フィンテック革命ファンド(為替ヘッジあり) 998円、新興国ソブリン・豪ドルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ブラジルリアルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ファンド(為替ヘッジあり／毎月決算型) 999円、U S短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり／毎月決算型) 102,434円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド－ロボテック－(為替ヘッジあり) 39,849円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド(年1回決算型)－ロボテック(年1回)－(為替ヘッジあり) 3,985円、iFreeレバレッジ S & P 500 995,814円、iFreeレバレッジN A S D A Q 100 29,943,109円、米国4資産リスク分散ファンド(年2回決算型) 658,945円、ダイワ上場投信－日経平均レバレッジ－インデックス3,526,781,327円、ダイワ上場投信－日経平均ダブルインバース－インデックス6,932,995,956円、ダイワ上場投信－T O P I Xレバレッジ(2倍) 指数1,154,855,756円、ダイワ上場投信－T O P I Xダブルインバース(－2倍) 指数1,136,478,065円、ダイワ上場投信－日経平均インバース－インデックス46,620,451,844円、ダイワ上場投信－T O P I Xインバース(－1倍) 指数10,870,537,799円、ダイワ上場投信－J P X日経400レバレッジ－インデックス413,400,603円、ダイワ上場投信－J P X日経400インバース－インデックス811,328,174円、ダイワ上場投信－J P X日経400ダブルインバース－インデックス401,731,588円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2016－07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(部分為替ヘッジあり) 2016－07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(部分為替ヘッジあり) 2017－06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(部分為替ヘッジあり) 2017－06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2016－10 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(部分為替ヘッジあり) 2016－10 997円、先進国トータルリターン戦略ファンド(リスク抑制型／適格機関投資家専用) 6,289,387,976円、ダイワ日本株式ベア・ファンド(適格機関投資家専用) 10,596,789,950円、低リスク型アロケーションファンド(金利トレンド判断付き／適格機関投資家専用) 179,433,743円、ダイワ日本国債15－20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ－S L T

リード－186,241,301円、ダイワ／モルガン・スタンレー新興4カ国不動産関連ファンド－成長の植苗(つちおと)－5,020,480円、ダイワ／ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ339,840,055円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ8,383,335円、低リスク型アロケーションファンド(適格機関投資家専用) 13,958,125,625円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ 豪ドル・コース(毎月分配型) 595,106円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ ブラジル・レアル・コース(毎月分配型) 987,373円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 494,581円、ダイワU S短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり／年1回決算型) 9,957円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジなし) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジなし) 997円、ダイワ／ミレーアセット亜細亜株式ファンド9,958,176円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり49,806円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし49,806円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) 米ドル・コース1,989,053円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) ブラジル・レアル・コース2,978,118円、通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) 通貨セレクト・コース1,691,241円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド(年1回決算型)－ロボテック(年1回)－100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり(毎月分配型) 399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし(毎月分配型) 99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円好配当株α(毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース(毎月分配型) 99,771円、ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジあり) 1,091,429円、ダイワ／ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジなし) 315,004円、ダイワ／ミレーアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型)－ジャパン・トリプルリターンズ－ 日本円・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型)－ジャパン・トリプルリターンズ－ 豪ドル・コース(毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型)－ジャパン・トリプルリターンズ－ ブラジル・レアル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型)－ジャパン・トリプルリターンズ－ 米ドル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型)－ジャパン・トリプルリターンズ－通貨セレクト・コース(毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型 日本円・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型 豪ドル・コース200,861円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型 ブラジル・レアル・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型 米ドル・コース1,999,177円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース505,900円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,015円です。

■損益の状況

当期 自2018年12月11日 至2019年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 46,990,800円
受取利息	413,173
支払利息	△ 47,403,973
(B) その他費用	△ 10,190,474
(C) 当期損益金(A + B)	△ 57,181,274
(D) 前期繰越損益金	90,073,869
(E) 解約差損益金	△254,373,622
(F) 追加信託差損益金	377,532,257
(G) 合計(C + D + E + F)	156,051,230
次期繰越損益金(G)	156,051,230

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。